

令和4年度（2022年度）

管理事業名	男女共同参画事業				総合計画の体系	大綱 1	人権・市民自治		
						政策 1	平和と人権を尊重するまちづくり		
						施策 3	男女共同参画の推進		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 23	男女共同参画費		
部局名	市民部	予算執行 所属	人権政策室、男女共同参画センター						
事業の目的と概要 男女共同参画に関する意識改革を図り、性別に関わらず対等な立場で働き暮らすことができる環境を整えるため、すいた男女共同参画プランの策定と同プランの進捗管理、男女共同参画センターの主催講座や講演会等の啓発を行う。また、DVなどの暴力や様々な悩みを抱える市民への相談やDV防止に向けた啓発等の取組を行う。									

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	指標の定義
主催講座等参加人数	人	3,717	5,171	5,012	男女共同参画センターの主催講座等における延べ参加者数
審議会等の女性委員の割合	%	34.9	29.9	30.1	審議会等の女性委員の割合
DVに関する相談件数	件	981	797	788	DV相談件数

II 活動実績・成果

<p>【成果指標1】主催講座等参加人数 ・男女共同参画センターでは、男女共同参画社会の実現と女性活躍の推進につながる講座等を79講座（前年度から1講座減）、延べ144回（前年度から12回増）行った。延受講者数は5,012人で、前年度から159人減少。 ・コロナ禍でも、オンラインを活用することで、講座等を中止することなく安定した講座運営を行うことができた。</p> <p>【成果指標2】審議会等の女性委員の割合 ・令和4年度30.1%（前年度から0.2ポイントの増） ・女性委員の割合が少ない審議会を所管する担当室課に対してヒアリングを行い、女性委員の積極的な選任について働きかけを行った。</p> <p>【成果指標3】DVに関する相談件数 ・配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護等のために、相談を実施した。 ・DV防止に向けた啓発をホームページやSNSを通じて発信した。</p> <p>【財務情報に基づいた評価】 ・男女共同参画センターの運営について、昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止等のため臨時休館が54日あったが、今年度は臨時休館がなく、施設使用料が増加した。 ・同センターは築36年の施設であるため、経年劣化により老朽化比率が2.1ポイント上昇（68.2%→70.3%）</p>	
--	--

III 課題と今後の取組

<p>・ダブルリボンプロジェクト基金は、DV防止や児童虐待防止のための事業に活用している。基金を財源とした事業は、啓発活動を主にDV被害者への直接支援として、男女共同参画センターでのDV相談や、また、若年層への啓発として、中学校でのデートDV予防啓発出前授業及び小学生向けいじめ暴力予防啓発出前授業を実施。</p> <p>・審議会等の女性委員の割合については、第4次すいた男女共同参画プランにおける目標値（40～60%）に到達していないため、引き続き関係室課と連携し、女性の積極的な選任を促す。</p>	<p>・相談内容について、DV防止法の対象外の方からの相談や、障がい者虐待、高齢者虐待、児童虐待等の様々な問題が複合し、複雑化したケースが増加しているため、関係機関とのより一層の連携が必要となっている。</p> <p>・男女共同参画センターは、男女共同参画推進の拠点施設として、貸室業務や多彩な講座、相談事業等、今後も多くの市民に利用していただけるよう手法や内容を工夫しながら取組んでいく。また、施設の経年劣化に伴う維持管理は、計画的な修繕や設備の更新を行うなど適切な維持管理に努めていく。</p>
---	---

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	5,795	6,296	501
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	5,795	6,296	501
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	252,875	240,758	△12,118	その他流動負債	-	-	-
土地	71,593	71,593	-	固定負債	57,994	61,149	3,155
建物・工作物	181,282	169,165	△12,118	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	57,994	61,149	3,155
無形固定資産	512	508	△5	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	63,789	67,445	3,655
建物・工作物	-	-	-	純資産	202,147	185,344	△16,803
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	3,000	3,000	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	9,549	8,524	△1,025
投資その他の資産	9,549	8,524	△1,025	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	9,549	8,524	△1,025
基金	9,549	8,524	△1,025	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	純資産の部合計	202,147	185,344	△16,803
資産の部合計	265,936	252,789	△13,147	負債及び純資産の部合計	265,936	252,789	△13,147

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	1,751	2,137	2,546	409
国庫支出金(経常費用充当)	-	720	518	△202
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	839	757	709	△49
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	0	0	0	△0
その他	920	1,385	1,115	△270
経常収入 小計(a)	3,511	5,000	4,888	△111
給与関係費	94,955	94,139	101,006	6,867
物件費	34,239	36,663	38,146	1,484
維持補修費	7,114	1,459	1,030	△429
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	5,328	7,034	7,190	156
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	12,123	12,123	12,122	△1
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	7,066	5,795	6,296	501
退職手当引当金繰入額	468	100	8,570	8,470
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	161,294	157,312	174,360	17,048
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△157,783	△152,312	△169,472	△17,159
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	0	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	0	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	△0	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△157,783	△152,312	△169,472	△17,159
一般財源充当額	150,920	145,597	152,669	7,072
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△6,863	△6,715	△16,803	△10,088

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	3,511	5,000	4,888	△111
行政サービス活動支出	155,064	151,251	158,582	7,332
行政サービス活動収支差額	△151,553	△146,251	△153,694	△7,443
投資活動収入	2,134	1,956	2,157	201
投資活動支出	1,501	1,302	1,132	△170
投資活動収支差額	633	654	1,025	371
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△150,920	△145,597	△152,669	△7,072
一般財源充当額	150,920	145,597	152,669	7,072
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特微的な事項

勘定科目等	特微的な事項
【BS】 建物・工作物	男女共同参画センターの建物減価償却による12,118千円の減
【PL】 物件費	男女共同参画センターの役務費で無線LANを設置した前年に比べ2,446千円減少したが、光熱水費で1,950千円増、委託料で783千円増、備品購入費で232千円増、また、第5次男女共同参画プラン策定に伴う印刷製本費で908千円増
【BS】 基金	ダブルリボンプロジェクト基金からDV防止対策事業の一部に充当するため2,157千円の取崩しによる減、指定寄附金、Wリボンバッジ利益分、預金利息、前年度繰戻分の積立による1,132千円の増
【PL】 給与関係費、退職手当引当金繰入額	男女共同参画センター職員数の増加による増(5人→6人)

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市民1人あたりのコスト	428円	415円	457円
実績	376,944人	378,781人	381,238人
コスト	円	円	円
実績			

分析内容
市民1人あたり年間457円のコストがかかっています。前年度より42円増加しました。
内(各年度の3月31日現在の吹田市人口で算出しています。)

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	92,250	1,860	10.50
会計年度任用等	23,126		
特別職非常勤	496		
合計	115,871		

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		66.1	68.2	70.3	2.1
施設維持補修費比率		1.2	0.3	0.2	△0.1
経常費用対公共資産比率		28.3	27.6	30.6	3.0
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		1.1	1.4	1.5	0.1
一般財源充当比率		96.4	95.4	95.6	0.2